

経済・金融概況

[アルゼンチン]

1. 景気概況

2019年10-12月期の実質GDP成長率は前年比▲1.1%と、前期（7-9月期）の同▲1.8%に引き続きマイナスとなった（第1図）。需要項目別にみると、内需の低迷を映じて個人消費（同▲1.9%）と総固定資本形成（同▲9.0%）、輸入（同▲10.3%）は6四半期連続の減少となった。一方、輸出は同+7.4%と増加し、輸入減と相まって純輸出は同+4.2%ポイントとプラス寄与となった。なお、2019年通年の実質GDP成長率は同▲2.2%と前年（同▲2.5%）に続き、マイナス成長となり、景気の悪化は継続している。

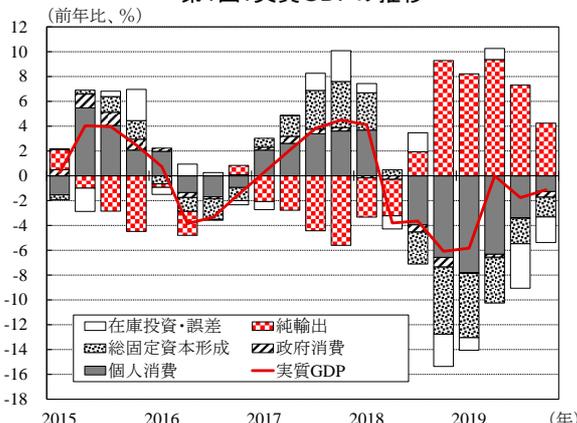
先行きについては、新型コロナウイルスの感染拡大が景気下押し要因となるだろう。アルゼンチンでは3月3日に国内で最初の新型コロナウイルスの感染者が報告され、3月30日現在では感染者820人、死亡者20人となっている。3月20日には大統領令が公布され、全国で3月31日まで清掃用具、医薬品、食料の購入以外の外出を禁止する措置が実施された。その後、29日には当該措置をイースター終了時まで延長する旨が正式に発表（具体的な終了日時の言及はなかったが、報道によると4月13日までの見込み）されるなど、新型コロナウイルス感染拡大が経済活動へ影響を及ぼし始めている。そもそもアルゼンチンでは、新型コロナウイルスの感染拡大以前から、スタグフレーションと通貨危機が併発していたことに加え、デフォルト懸念も依然燻っている。IMFは2月19日にアルゼンチンに派遣していたミッション団による声明を発表しており、「アルゼンチン・ペソの急落、外貨準備高の減少、実質GDP成長率の悪化等により債務状況は厳しく、持続性がない」と言明するなど予断を許さない状況で、ここに新型コロナウイルス感染拡大という景気への重石が加わった以上、アルゼンチン経済の大幅な落ち込みは避けられないと考えられる。

2. 物価・雇用

物価：直近2月の消費者物価上昇率は前年比+50.3%と、依然高水準にて推移している。

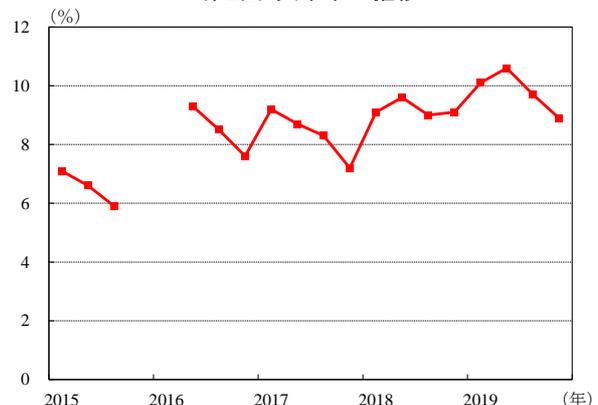
失業率：昨年10-12月期の失業率は8.9%と、高水準にて推移している（第2図）。

第1図：実質GDPの推移



(資料)アルゼンチン国家統計センサス局統計より国通貨研究所作成

第2図：失業率の推移



(注)2015年第4四半期、2016年第1四半期は未発表。

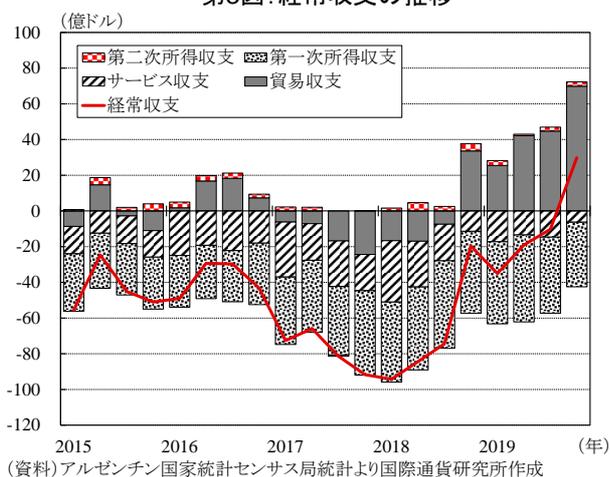
(資料)アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

3. 経常収支・外貨準備高

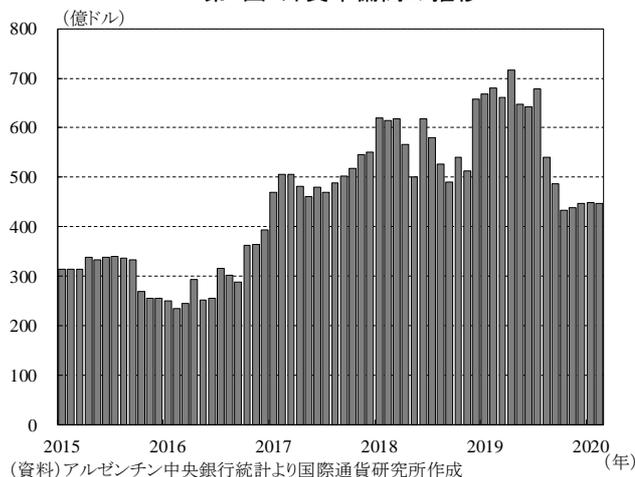
経常収支：昨年10-12月期の経常収支は30億ドルの黒字と、前期（▲10億ドルの赤字）から黒字転化した（第3図）。貿易収支の黒字幅が拡大したことが主因である。

外貨準備高：通貨危機を食い止めるために中央銀行がドル売りペソ買い介入を実施した影響で、直近2月の外貨準備高は448億ドルと前年比▲31.9%と減少している（第4図）。

第3図：経常収支の推移



第4図：外貨準備高の推移



4. 金融市場

為替：2018年に再燃したアルゼンチンの外貨不足は既に3年目になっており、その間ペソの対ドル相場は断続的に下落している。フェルナンデス政権発足（2019年12月）後は比較的安定して推移していたが、新型コロナウイルスの感染拡大による不透明感の高まりにより、3月27日時点で1ドル64.3ペソと更に切り下がった水準となっている（第5図）。

株価：メルバル指数は、昨年7月11日に過去最高値の42,856.29ポイントを記録したが、政治面の先行き不透明感の強まりから、9月3日には23,079.32ポイントまで急落した。その後は回復傾向であったが、新型コロナウイルスの感染拡大による不透明感の高まりにより、直近3月27日時点で24058.6ポイントまで急反落している（第6図）。

第5図：アルゼンチンペソ(対ドル)の推移



第6図：株価(メルバル指数)の推移



アルゼンチン経済・金融概況

1. 年次

	2016年	2017年	2018年	2019年
実質GDP成長率	▲2.1%	2.7%	▲2.5%	▲2.2%
鉱工業活動指数(前年比)	▲4.5%	2.5%	▲4.6%	▲6.2%
建設活動指数(前年比)	▲13.8%	13.5%	1.9%	▲7.8%
自動車生産台数(千台)	473	472	467	316
自動車販売台数(千台)	721	884	682	372
失業率(年末期)	7.6%	7.2%	9.1%	8.9%
消費者信頼感指数	45.2	45.6	37.7	39.3
消費者物価上昇率(年末月・前年比)	-	24.8%	47.6%	53.8%
(年平均)	40.7%	28.6%	36.3%	46.0%
輸出(FOB)(億ドル)	579	586	618	651
(前年比)	2.0%	1.3%	5.4%	5.4%
輸入(COF)(億ドル)	559	669	655	491
(前年比)	▲7.2%	19.8%	▲2.2%	▲25.0%
貿易収支(億ドル)	21	▲83	▲37	160
対外準備(億ドル)(年末)	393	551	658	448
ベースマネー(億ペソ)(年末)	8,217	10,011	14,090	18,954
対民間部門貸出量(億ペソ)(年末月)	11,246	17,012	23,238	28,237
(前年比)	31.0%	51.3%	36.6%	21.5%
経常収支(億ドル)	▲151	▲312	▲273	▲35
株価指数(メルバル指数)(年末)	16,918	30,066	30,293	41,671
対米ドル為替相場(年末)	15.83	18.83	37.66	59.87

2. 月次

	19年7月	8月	9月	10月	11月	12月	20年1月	2月	3月
実質GDP成長率(前年比)	┌	▲1.8%	┐	┌	▲1.1%	┐	┌	-	┐
鉱工業活動指数(前年比)	▲1.7%	▲6.5%	▲5.0%	▲1.9%	▲4.4%	1.3%	▲0.1%	-	-
建設活動指数(前年比)	▲1.9%	▲6.0%	▲8.7%	▲9.5%	▲5.2%	▲6.4%	▲13.5%	-	-
自動車生産台数(千台)	22	31	28	32	27	15	21	26	-
自動車販売台数(千台)	39	38	27	27	23	31	26	27	-
失業率	┌	9.7%	┐	┌	8.9%	┐	┌	-	┐
消費者信頼感指数	44.2	41.9	42.1	43.8	41.4	42.4	43.0	42.7	41.2
消費者物価上昇率(前年比) INDEC	54.4%	54.5%	53.5%	50.5%	52.1%	53.8%	52.9%	50.3%	-
輸出(FOB)(億ドル)	59	56	57	59	59	54	45	43	-
(前年比)	8.1%	7.0%	14.1%	9.1%	10.1%	0.7%	▲0.8%	▲2.8%	-
輸入(COF)(億ドル)	49	44	40	41	34	31	35	32	-
(前年比)	▲20.7%	▲30.3%	▲14.9%	▲18.8%	▲21.9%	▲20.0%	▲16.1%	▲20.1%	-
貿易収支(億ドル)(貿易統計ベース)	10	12	17	18	25	22	10	11	-
対外準備(億ドル)	679	541	487	433	438	448	449	448	-
ベースマネー(億ペソ)	13,393	12,962	13,100	13,872	16,716	18,954	17,089	17,161	-
対民間部門貸出量(億ペソ)	25,247	27,955	27,190	27,818	27,753	28,237	28,095	-	-
経常収支(億ドル)(国際収支統計ベース)	┌	▲10.31	┐	┌	29.84	┐	┌	-	┐
株価指数(メルバル指数)(月末)	42,058	24,609	29,067	34,995	34,500	41,671	40,105	34,973	-
対米ドル為替相場(月末)	43.82	59.12	57.59	59.78	59.92	59.87	60.33	62.21	-

(資料)アルゼンチン中銀、国家統計センサス局、経済省、アルゼンチン大学、OECD、Thomson Reuters Datastream より国際通貨研究所作成

照会先：国際通貨研究所 森川 央 morikawa@iima.or.jp
戸松 篤志 atsushi_tomatsu@iima.or.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページでもご覧いただけます。